

【研究主題】主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり ～小規模・複式指導における山場の工夫～

1 研究の仮説と構造図

主体的・対話的で深い学びの実現

主体的・対話的な
学びができる子供

深い学びができる子供

- ・ boysを中心とした授業を進められる
- ・ 分からないことを自分からいえる
- ・ 分からないことを聞き合える
- ・ 自分たちで問題解決に向かっていくことができる
- ・ 自ら課題を考え、自ら学習に取り組める

目指す子ども像

- ・ 独自の見方・考え方を、日常会話や社会
事象に生かせる実践をもって活用できる
- ・ ものの見方・考え方を働かせて、創造性
立てて考えたり、統合的・発展的に考え
たりすることができる
- ・ 自分の考えを相手に分かりやすく説明で
きる
- ・ 学んだことを次の学びにつなげることが
できる

仮説1

算数科・数学科の少人数・複式指導にお
いて、教師が対話活動を軸とした授業を行
うことで、主体的に問題解決に向かうこ
子供の資質を高めることができるのではない
か。

【仮説1の手立て】

- ・ 主体的に学習を進めるための学習の育成
- ・ 学習の手引きの活用
- ・ 思考を可視化するノート指導

仮説2

対話活動を通して、自分の考えを練り上げ
る機会を行うことで、自分の考えを高め、学ん
だことを実生活の中でも活用でき、
様々な場面で算数科・数学科の有用性を実感
することができる子供の育成を図ることができ
るのではないか。

【仮説2の手立て】

- ・ 対話活動の実現
- ・ 少人数での対話の仕方の工夫
- ・ 効果的な対話環境の設定

対話活動を軸とした少人数・複式指導

2 主な仮説の手立て（対話活動）

【仮説1の手立て】

学習者が主体的に取り組める、学習の手引きの活用

【仮説2の手立て】

3つの対話型を全学年で共通実践

3つの対話をうまくつかおう

1 かくにん対話

「どうしたらいいか」、「なにをするか」などをかくにんする対話です
→とてもみじかい時間

(れい) これは〇〇算だね。 まずは□□をすばいね。

2 いけんこうかん対話

かんがえたことやノートに書いたことをつたえあう対話です。
→ややみじかい時間

(れい) わたしは、□□という式をたてました。
図にすると、このようになりました。

3 ねりあげ対話

がくしゅうもんだい（めあて）のかいけつのための対話です。
→ながい時間

(れい) これまでにまんだことをつかうと…
〇〇さんと△△さんのかんがえをあわせると… →ほかのにも
つたえられようしよう

3 研究の実際

実証授業（10月）、検証授業（1月）1人1授業（通年）を通して、仮説について検証したり、手立てを
ブラッシュアップしてきました。

① 令和4年度総括授業の授業研究の様子



互いの考えを
比較する
思考して問い
続ける
実現したい子どもの姿を
共有するピクトグラムの活用

② 発達段階に合わせた学習の手引き



③ 令和4年度検証授業の様子



4 当日の様子

【研究授業】算数 3年「1けたをかけるかけ算」・4年「面積」



子どもたちが授業での対話活動を通して思考を深めたり、考えを
練り上げている様子が見られました。

【授業研究】

仮説1・2の手立ての有効性について
成果と課題の付箋を用いてグループ討議
を行いました。



【参加された先生方のアンケートより】

- ・ 主体的、対話的に子供たちが進めていて
素晴らしかったです。子供たちが主体的に
活動できたのも、先生の発問や信頼関係が
あつてのことなので、私も真似できるよう
になっていきたいです。
- ・ 今年度初めて複式学級を持ちましたが、
本日の授業はわりやぐらしの使い方がと
ても上手で、児童が主体的・対話的に学べ
る環境づくりも徹底されており、とても素
晴らしい授業でした。児童が対話をしなが
ら問題を解くことで、先生が中間の位置で
学級を見守る時間も確保され、ICTの活用も
行われていたのがさらに素晴らしかったで
す。
- ・ 昨年度からの統一した指導の積み上げや、
担任の先生の丁寧な指導や思いが児童にも
良く伝わっており、学力保障されていると
感じました。